



# 平成30年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月11日

上場会社名 株式会社グローバルグループ  
 コード番号 6189 URL <http://www.globalg.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石橋 宜忠

問合せ先責任者 (役職名) 財務IR部長 (氏名) 生川 雅也

TEL 03-3221-3770

四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	8,214	37.5	349	21.7	319	11.8	167	48.6
29年9月期第2四半期	5,976	31.1	287	40.0	362	118.8	325	125.9

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 209百万円 (12.5%) 29年9月期第2四半期 239百万円 (66.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	19.01	18.17
29年9月期第2四半期	39.81	34.75

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第2四半期	18,534	6,172	33.2
29年9月期	13,952	5,924	42.5

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 6,153百万円 29年9月期 5,924百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		0.00		0.00	0.00
30年9月期		0.00			
30年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	29.2	370	9.1	1,700	15.0	1,150	45.3	129.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期2Q	8,979,071 株	29年9月期	8,695,360 株
期末自己株式数	30年9月期2Q	128 株	29年9月期	128 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期2Q	8,793,805 株	29年9月期2Q	8,170,046 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来的予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に企業収益や設備投資の回復が続いているうえ、雇用・所得環境の改善を映して個人消費の持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境のなか、子育て支援事業を取り巻く状況は、女性就業者数の増加を背景とした保育需要増加に対応するため、政府・自治体が保育の受け皿拡大を目的とした保育士確保や保育所整備のための施策を打ち出しています。さらに、政府は2020年度末までに22万人分、加えて2022年度までに10万人分、合計32万人分の受け皿を整備し待機児童の解消を目指す「子育て安心プラン」を2017年6月に公表しており、引き続き保育施設数が拡大していく見込みです。

高齢化や総人口の減少による労働人口の減少が懸念されるなかで、経済の活力の担い手となる女性の社会進出のためには保育環境の整備が喫緊の課題であり、子育て支援事業者の社会的役割は一段と重要性を増しております。

当社グループは当第2四半期末時点で認可保育所(東京都)56施設、認可保育所(神奈川県)19施設、認可保育所(千葉県)3施設、認可保育所(大阪府)3施設、認証保育所・認定こども園等保育施設25施設、学童クラブ・児童館12施設、の計118施設を営んでおります。

なお、当第2四半期連結会計期間において新たな施設の開設準備を進め、平成30年4月1日に下記の認可保育所16施設を新規に開設しております。

## (保育所)

## 東京都

グローバルキッズ愛住町園  
 グローバルキッズ西新宿園  
 グローバルキッズ鶴の木園  
 グローバルキッズ雑色園  
 グローバルキッズ幡ヶ谷園  
 グローバルキッズ代々木上原園  
 グローバルキッズ代々木八幡園  
 グローバルキッズ松庵園  
 グローバルキッズ椎名町園  
 グローバルキッズ池袋駅前保育園  
 グローバルキッズ千早園  
 グローバルキッズ船堀園

## 神奈川県

グローバルキッズ子安駅前保育園  
 グローバルキッズ綱島SST保育園

## 埼玉県

グローバルキッズ戸田駅前保育園

## 大阪府

グローバルキッズ住之江園

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,214百万円(前年同期比37.5%増)、営業利益は349百万円(前年同期比21.7%増)、経常利益は319百万円(前年同期比11.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益167百万円(前年同期比48.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債、純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して4,581百万円増加し18,534百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して3,070百万円増加し5,716百万円となりました。これは、4月の新規開園に備え現金及び預金を積み増したほか、未収入金が432百万円増加したことが主因です。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,511百万円増加し12,818百万円となりました。これは、新規開園に向け建設仮勘定が1,770百万円増加したためです。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末と比較して4,333百万円増加し12,361百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して3,271百万円増加し5,743百万円となりました。これは、新規開園準備のため短期借入金が2,700百万円増加したことや未払金が515百万円増加したことが主因です。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して1,062百万円増加し6,617百万円となりました。これは、長期借入金が1,170百万円増加したことが要因です。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して248百万円増加し6,172百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が167百万円増加したことが主因です。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、3,555百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、35百万円となりました。これは、未収入金の増加432百万円、前払費用の増加351百万円がありました。一方で税金等調整前四半期純利益が319百万円、未払金の増加515百万円、減価償却費284百万円が発生したこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、1,773百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が1,783百万円発生したこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は4,047百万円となりました。これは、長期借入金の返済による支出が376百万円ありましたが、一方で短期借入金の増加が2,700百万円、長期借入による収入が1,719百万円あったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期通期の連結業績予想につきましては、本日(平成30年5月11日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,246	3,555
未収入金	854	1,287
前払費用	318	679
繰延税金資産	208	173
その他	17	19
流動資産合計	2,645	5,716
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,113	7,865
建設仮勘定	263	2,034
その他(純額)	411	388
有形固定資産合計	8,789	10,288
無形固定資産		
その他	22	22
無形固定資産合計	22	22
投資その他の資産		
投資有価証券	20	20
長期前払費用	649	762
敷金及び保証金	1,306	1,367
建設協力金	366	356
繰延税金資産	12	—
その他	139	0
投資その他の資産合計	2,495	2,506
固定資産合計	11,307	12,818
資産合計	13,952	18,534
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	2,700
1年内返済予定の長期借入金	746	918
1年内償還予定の社債	35	35
未払金	788	1,303
未払法人税等	150	170
前受金	157	7
賞与引当金	375	379
その他	218	227
流動負債合計	2,472	5,743
固定負債		
社債	59	41
長期借入金	3,325	4,496
退職給付に係る負債	153	137
繰延税金負債	1,905	1,835
その他	111	107
固定負債合計	5,555	6,617
負債合計	8,028	12,361

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,256	1,266
資本剰余金	1,944	1,954
利益剰余金	2,846	3,013
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,047	6,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
退職給付に係る調整累計額	△122	△80
その他の包括利益累計額合計	△122	△80
新株予約権	-	19
純資産合計	5,924	6,172
負債純資産合計	13,952	18,534

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	5,976	8,214
売上原価	4,917	6,926
売上総利益	1,059	1,288
販売費及び一般管理費	772	939
営業利益	287	349
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	4
補助金収入	110	—
その他	3	0
営業外収益合計	115	4
営業外費用		
支払利息	15	16
開設準備費用	22	—
その他	1	17
営業外費用合計	40	34
経常利益	362	319
税金等調整前四半期純利益	362	319
法人税等	37	152
四半期純利益	325	167
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	325	167
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
退職給付に係る調整額	△85	42
その他の包括利益合計	△85	42
四半期包括利益	239	209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239	209
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	362	319
減価償却費	233	284
のれん償却額	1	—
補助金収入	△110	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7	27
受取利息及び受取配当金	△1	△4
支払利息	15	16
未収入金の増減額(△は増加)	△139	△432
前払費用の増減額(△は増加)	△315	△351
未払金の増減額(△は減少)	51	515
前受金の増減額(△は減少)	△120	△150
その他	△94	△38
小計	△106	191
利息及び配当金の受取額	0	2
利息の支払額	△16	△15
法人税等の支払額	△104	△142
補助金の受取額	43	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△183	35
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,790	△1,783
無形固定資産の取得による支出	△6	△3
敷金及び保証金の差入による支出	△133	△70
建設協力金の支払による支出	△42	—
建設協力金の回収による収入	9	12
その他	△24	72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,987	△1,773
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,300	2,700
長期借入れによる収入	1,190	1,719
長期借入金の返済による支出	△339	△376
社債の償還による支出	△44	△17
リース債務の返済による支出	△4	△3
ストックオプションの行使による収入	4	6
新株予約権の発行による収入	—	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,104	4,047
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65	2,309
現金及び現金同等物の期首残高	1,474	1,246
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,408	3,555

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、「子育て支援事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。